

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日  
平成 29 年 4 月 10 日

事務事業名		近隣親善シニアソフトボール大会開催助成事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	030401000066
政策体系		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	090501
総合計画の施策名		0304 生涯スポーツ活動の振興				主要事業	対象外		スポーツ振興課
政策名		03 豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり				市長マニフェスト	対象外		
施策名		04 生涯スポーツ活動の振興				未来PJ事業	対象外	グループ	スポーツ振興G
基本事業名		01 スポーツをする機会の充実				合併建設計画事業	対象外		
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	06	01	02	00	単年度繰返し (平成18年度~)		
法令根拠					保健体育総務事業		☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
① 事務事業の概要 (事務事業の全体像)	② 担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>・近隣各県(主に関東圏内)のシニア世代ソフトボール愛好者が生涯スポーツの一環としてチーム間での交流を図ることや、ソフトボール技術の向上、競技の振興を目的として行なっている。桜川市ソフトボール協会の主催で行われ、シニアの部、グランドシニアの部の2部門からなり、参加チームは増加傾向にある。平成28年度は40チームの参加で開催され、大会の開催により、市内小売店、宿泊施設等の商業振興にもつながっている。</p> <p>○シニアの部 59歳以上 (28チーム)</p> <p>○グランドシニアの部 68歳以上 (12チーム)</p> <p>・開催日 4月1日(土)~4月2日(日)</p> <p>・場 所 桜川市真壁運動場外</p>	補助金交付事務

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

① 手段 (担当者の活動内容)	④ 活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
補助金交付事務	開催回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
関東圏内シニア世代のソフトボールチーム(愛好者)	シニア世代のソフトボールチーム(愛好者)	チーム	39.00	40.00	42.00	42.00	42.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③ 意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
ソフトボール技術の向上を身につけるとともに、スポーツを通して健康で明るい生活が送れる	参加者数	人	903.00	996.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入	事業費	財源内訳	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	30年度(目標)	31年度(目標)	期間限定総投入量
量	人件費	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0
		一般財源	80	80	80	80	80	80
		事業費計(A)	80	80	80	80	80	80
正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人		
述べ業務時間	時間	6.00	5.00	5.00	5.00	5.00		
人件費計(B)	千円	17	15	15	15	15		
トータルコスト(A)+(B)	千円	97	95	95	95	95		

事業費の内訳	28年度事業費 実績(千円)			29年度事業費 予算(千円)		
	金額	比率	内容	金額	比率	内容
19 負担金補助及び交付金	80			80		
合計	80			80		

(4) 当該年度の実施内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要事業</li> <li>・市長マニフェスト</li> <li>・未来PJ事業</li> <li>・合併建設計画事業</li> </ul>			

事務事業名	近県親善シニアソフトボール大会開催助成事業	事務事業No.	30401000066	所属課	スポーツ振興課
-------	-----------------------	---------	-------------	-----	---------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成7年度に近県シニア層交流と技術の向上を図ることを目的に開始された。</li> <li>年々参加チームが増加傾向にあり地域の振興につながっている。</li> </ul>	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
<ul style="list-style-type: none"> <li>北関東横断道路の高速道路が整備されたため、近年は宿泊は少なくなってしまったが、市内の旅館組合より、宿泊が毎年数チームあり、好評である。経済効果はある。</li> </ul>	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
現状維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援団体の確保。</li> <li>参加費の増額については参加チームの理解を求めなければならない。</li> </ul>

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている チーム間の交流、技術の向上、競技の振興という意図は生涯スポーツ社会を実現するための手段となっている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である スポーツを通じた地域間交流を図り、また、生涯スポーツ社会の実現を目指すことが意図であるため妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 参加者がシニア層であり、日頃の練習成果が大会で十分に発揮されているため向上余地はない。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 チーム間の交流、競技の振興、日頃の練習成果を発揮する機会、そして、スポーツ社会の実現が妨げられてしまう。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 関東圏内のシニア層とソフトボールを通じて交流をする機会はこの事業以外ない。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 協賛、後援団体の支援を受けて、完全自主運営のため経費削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 参加費を徴収し大会運営に充当しているため経費削減余地はない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	・北関東横断道路の高速道路が整備されたため、近年は数チームの宿泊となってしまったが市内の旅館組合より、宿泊が毎年数チームあり、好評である。経済効果は見込まれる。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○	×																						
	低下		×	×																						
<ul style="list-style-type: none"> <li>支援団体の確保。</li> <li>参加費の増額については参加チームの理解を求めなければならない。</li> </ul>		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>